

# 第2四半期 決算説明資料

2024年6月期

2024年2月27日  
日本システムバンク株式会社



証券コード  
5530

## 目次

- 01 - 会社紹介
- 02 - 2024年6月期 第2四半期決算報告
- 03 - 成長戦略
- 04 - 2024年6月期 業績予想
- 05 - トピックス

01

---

# 会社紹介

---

企業理念

喜びの種をまこう

幸せの種をまこう

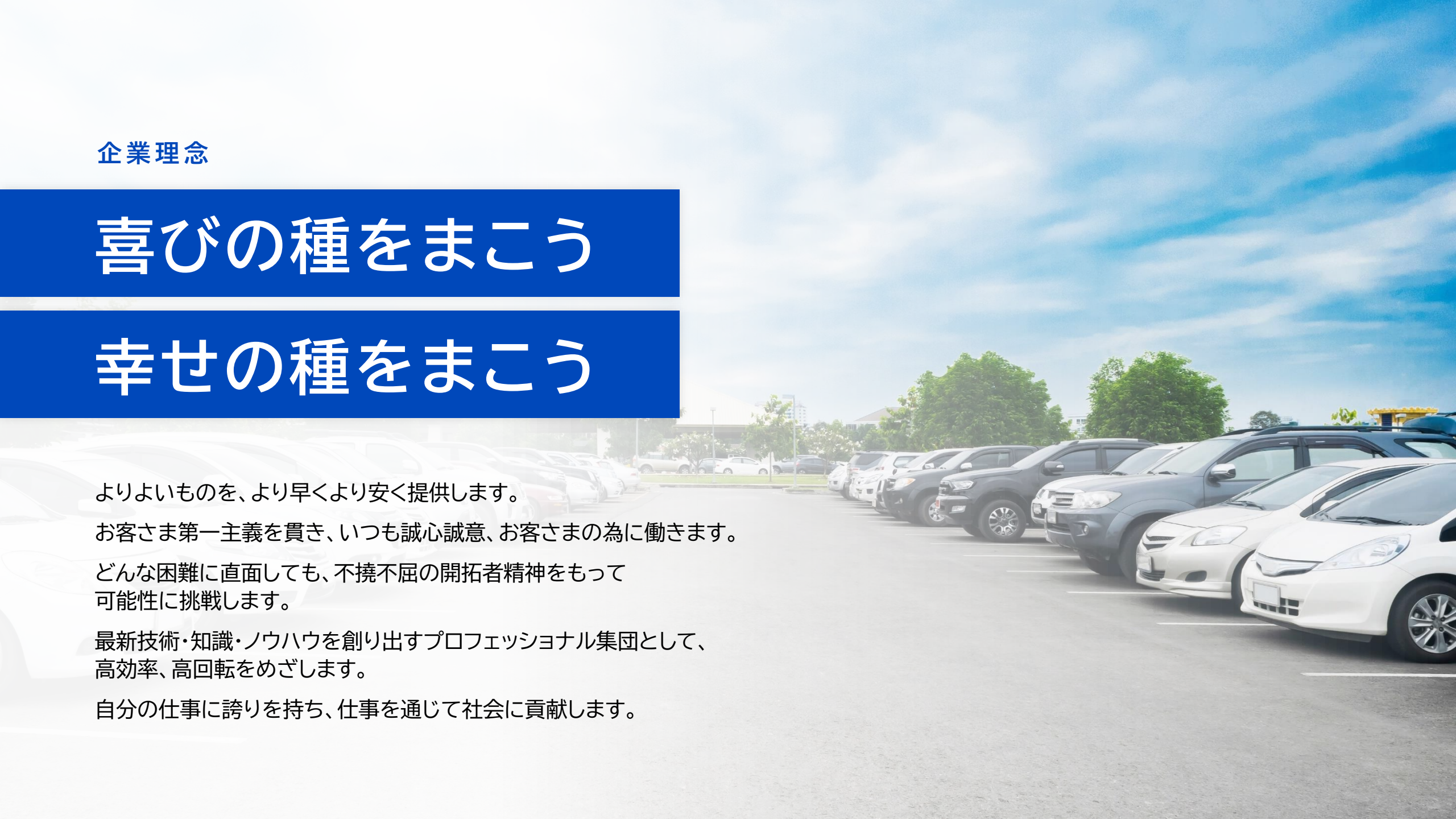
よりよいものを、より早くより安く提供します。

お客さま第一主義を貫き、いつも誠心誠意、お客さまの為に働きます。

どんな困難に直面しても、不撓不屈の開拓者精神をもって可能性に挑戦します。

最新技術・知識・ノウハウを創り出すプロフェッショナル集団として、高効率、高回転をめざします。

自分の仕事に誇りを持ち、仕事を通じて社会に貢献します。



会社名	日本システムバンク株式会社
設立	1996年7月10日
資本金	5億8,363万円（2023年6月末時点）
売上高	68億8,982万円（2023年6月期）
従業員数	237名（2023年12月末時点）
事業内容	コインパーキング事業 プロパティマネジメント事業
本社所在地	福井県福井市中央3-5-21 東京都渋谷区渋谷1-7-5
支店所在地	市川市、町田市、さいたま市、横浜市、長野市、富山市、 金沢市、福井市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、 福岡市
グループ会社	ノルテパーク株式会社(札幌市) システムパーク株式会社(仙台市) イーアド株式会社(福井市)

“

新たなステージに立ち向かうべく求められる進化

中期経営目標を定め

全社一丸となってこれに挑み、

駐車場業界に、社内に、革新を起こします。

”

代表取締役社長

野坂信嘉





# 事業概要

コインパーキング(CP)事業とプロパティマネジメント(PM)事業の2セグメント体制。主力のCP事業では、自らCPを経営する「CP運営ビジネス」と、CPシステムの構築・保守を行う「CPシステム販売保守ビジネス」を展開

## コインパーキング事業

### CP運営ビジネス



- 土地を借り上げ、直営駐車場として運営

### CPシステム販売保守ビジネス



- ニーズに応じた機器の選定・造成工事
- システム保守・コールセンターサービスの提供

## プロパティマネジメント事業



- テナントビル賃貸ビジネス

連結売上高※ 構成

98.3%

1.7%

管理駐車場  
構成

件数※

16.7%(1,234件)

83.3%(6,176件)

車室数※

16.4%(23,111車室)

83.6%(118,036車室)

※ 2024年6月期 第2四半期時点の実績

# 競争優位性

機器調達力と豊富なノウハウから生み出される、利用者満足度の最大化が競争優位として機能



## 機器調達力

10社以上のメーカーからの製品調達と  
研修・情報共有



## 豊富なノウハウ

25年以上の事業活動により蓄積された  
利用者ニーズ、最適なCP設計・経営の知見

## 要件定義



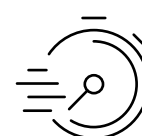
土地／駐車場オーナーの  
ニーズをとらえた最適解と  
なるCPの提案力

## CP設計・開設



多様なCP機器・技術を組み  
合わせ、オーナー・利用者双方  
に利益をもたらすCP構築力

## CP運営



自社運営のコールセンター  
と保守の連携による、駐車場  
管理に適したきめ細やか・  
的確・スピーディな対応力

駐車場経営を成功に導くシステム

# オンリーワンの総合商社スタイル

02

---

# 2024年6月期 第2四半期決算報告

---



## 売上高

36.7億円

前年同期比 +9.1%

## 営業利益

2.9億円

前年同期比 +12.7%

## 親会社株主に 帰属する 当期純利益

1.8億円

前年同期比 +18.5%

### 外部環境

- ・ アフターコロナ期に移行し、経済社会活動の正常化が加速、需要回復の勢いが強まった
- ・ 資源価格の高騰や円安による輸入原材料価格の上昇が価格に転嫁されることでインフレが進んだ
- ・ 事業者はインボイス制度や新貨幣への対応を迫られた

### 各事業への影響

#### CP運営

コインパーキングの稼働率は前年同期を上回り、需給バランスに応じた料金改定を進め堅調に推移

#### CPシステム 販売保守

駐車場運営事業者の新規開設意欲が徐々に高まるも、だぶついた中古機器の使用は依然として多く、新貨幣に対応する識別機への交換等で売上を確保

#### PM

人流回復の影響により需要が安定し、入居率は横ばいで推移

## 連結業績

コインパーキング事業が好調に推移し増収。増収効果およびコインパーキングの稼働率の上昇により営業利益以下改善

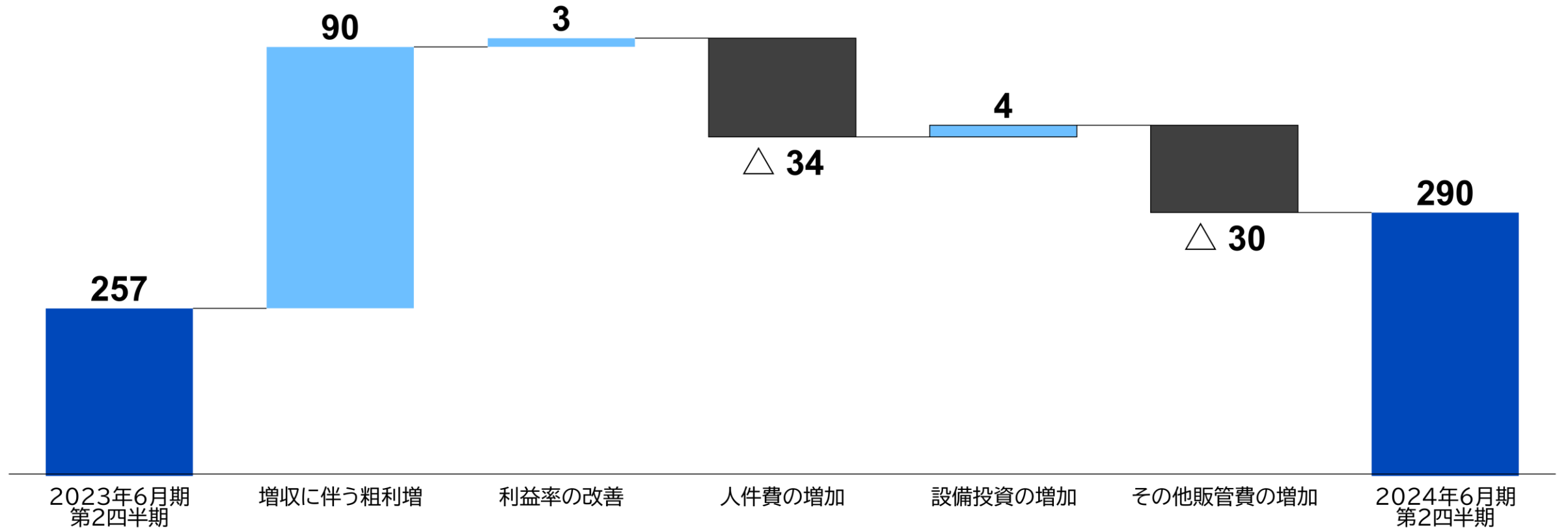
(百万円)

	2023年6月期 第2四半期実績	2024年6月期 第2四半期		前年同期比 (増減額)	2024年6月期 第2四半期計画*	計画差
		実績	売上比			
売上高	3,367	3,674	—	+9.1% (+306)	3,566	+3.0%
営業利益	257	290	7.9%	+12.7% (+32)	268	+8.0%
経常利益	252	285	7.8%	+13.2% (+33)	264	+8.1%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	152	180	4.9%	+18.5% (+28)	168	+7.1%
1株当たり四半期(当期) 純利益	146.37円	158.28円	—	+11.91円	147.76円	+10.52円
自己資本利益率(ROE)	8.9%	8.5%	—	△0.4pt	-	-

# 連結営業利益 増減分析

増収・利益率の改善効果により、人件費及びその他販管費の増加を吸収

(百万円)



## 連結貸借対照表

有形固定資産は、中長期的な成長に向けた土地・機器の取得により増加。  
成長投資をしながらも、自己資本比率向上・D/Eレシオ低減を実現し、健全性を維持

(百万円)

	2023年 6月末	2023年 12月末	増減額
<b>流動資産</b>	<b>2,163</b>	<b>2,143</b>	<b>△20</b>
現預金	1,428	1,376	△51
売掛金・ 前払費用等	595	627	+31
棚卸資産	101	115	+14
<b>固定資産</b>	<b>4,710</b>	<b>4,786</b>	<b>+75</b>
有形固定資産	4,281	4,373	+91
無形固定資産	69	61	△7
投資その他の資産	359	351	△8
<b>資産合計</b>	<b>6,874</b>	<b>6,929</b>	<b>+55</b>

	2022年 12月末	2023年 12月末	増減額
<b>流動負債</b>	<b>1,999</b>	<b>1,862</b>	<b>△137</b>
買掛金・未払費用等	523	541	+18
長期借入金 (1年以内返済)	729	621	△108
預り金	372	355	△17
<b>固定負債</b>	<b>2,826</b>	<b>2,874</b>	<b>+48</b>
長期借入金	2,212	2,249	+37
<b>純資産</b>	<b>2,048</b>	<b>2,192</b>	<b>+143</b>
利益剰余金	812	948	+136
<b>負債・純資産合計</b>	<b>6,874</b>	<b>6,929</b>	<b>+55</b>
自己資本比率	29.8%	31.6%	+1.8pt
有利子負債	3,013	2,918	△94
D/Eレシオ	1.47倍	1.33倍	△0.14pt

# 連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローが大幅に改善し、中長期的な事業成長のための投資を行いつつ、借入金の返済を進めることで財務基盤を強化

(百万円)

	2023年6月期 第2四半期実績	2024年6月期 第2四半期実績	前年同期比
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>187</b>	<b>295</b>	<b>157.9%</b>
税金等調整前当期純利益	249	284	113.9%
減価償却費	143	166	115.8%
売上債権の増減額(△は増加)	33	△30	-
仕入債務の増減額(△は減少)	△58	△26	45.6%
未払消費税等の増減額(△は減少)	△94	37	-
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△203</b>	<b>△206</b>	<b>-</b>
投資有価証券の売却による収入	-	25	-
有形固定資産の取得による支出	△209	△218	104.2%
有形固定資産の売却による収入	17	0	1.5%
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>△15</b>	<b>89</b>	<b>-</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△300</b>	<b>△140</b>	<b>46.8%</b>
長期借入れによる収入	400	300	75.0%
長期借入の返済による支出	△638	△371	58.1%
配当金の支払額	△27	△44	164.3%
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△315</b>	<b>△51</b>	<b>16.3%</b>
<b>現金及び現金同等物の残高</b>	<b>1,302</b>	<b>1,376</b>	<b>105.7%</b>

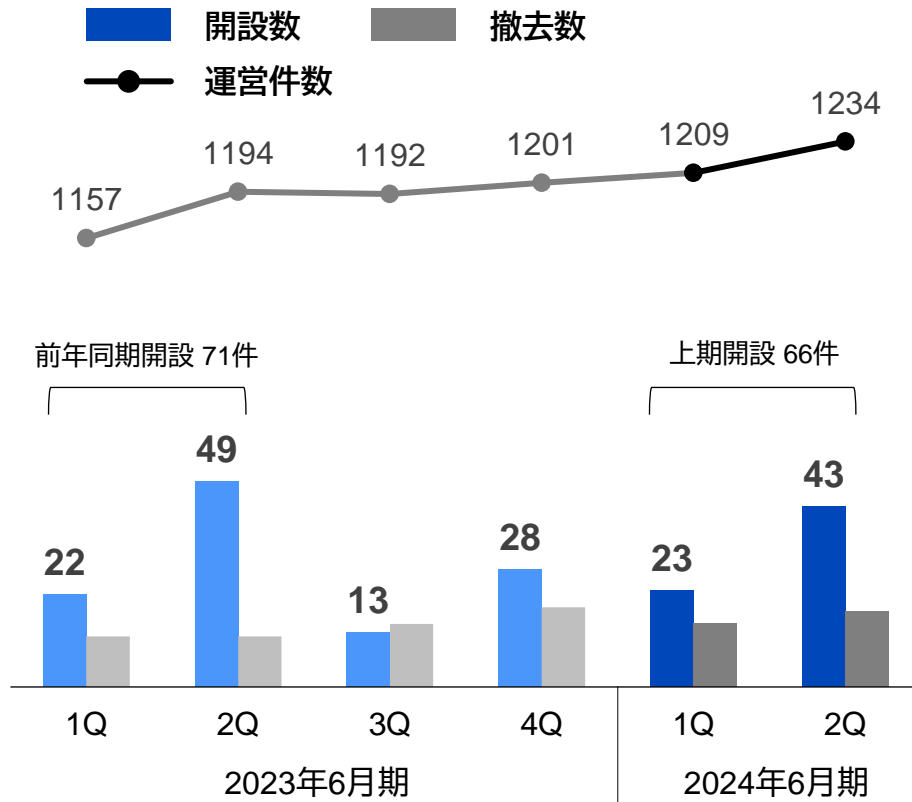
- CP用地を取得  
(土地の増加)
- CP機器を取得  
(機械装置等の増加)

# 駐車場・駐輪場の開設状況

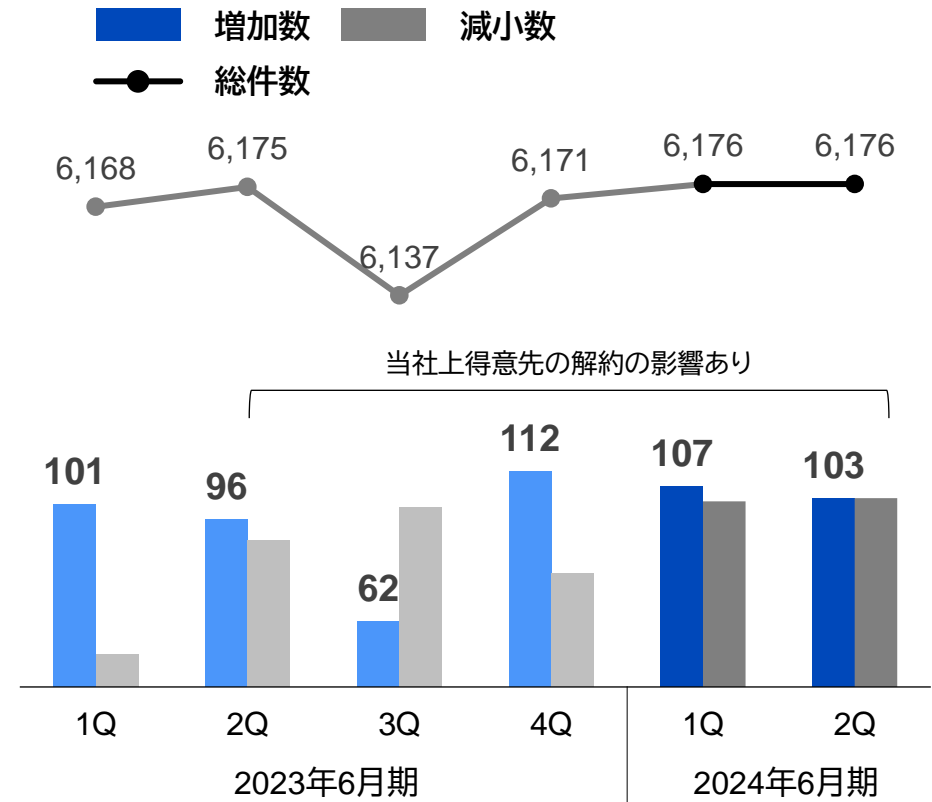
直営駐車場・駐輪場は、前年同期と同等の開設数で運営件数が着実に増加。

管理受託駐車場は、新規受託数は堅調も、大口顧客の一部が解約となった影響で総件数は横ばい

## 直営駐車場・駐輪場の開設数・運営件数



## 管理受託駐車場・駐輪場の増減数・総件数





03

---

# 成長戦略

---

# 基本方針

直営駐車場の安定化・駐車場運営事業者サポート強化・品質向上を柱に、CP事業の成長を追求。加えて、持続可能な成長に資する、上場企業にふさわしい内部統制を実現

## 事業戦略

- 01 -

### 主力事業の拡大

- 機器・システム・料金の最適化や施設リフレッシュを通じた直営駐車場の盤石化
- 顧客ニーズを的確にとらえた新たなサービス・機器の開発
- 土地オーナー向け機器販売の強化。管理・保守によるストックビジネスの推進

- 02 -

### サービス品質の向上

- 自社運営コールセンターと全国保守ネットワークを活用した専門サポートの強化
- メンテナンススタッフの資格取得推進による保守点検作業の品質向上
- カメラを起点とした管理精度向上(防犯・故障発見等)

## 経営基盤強化

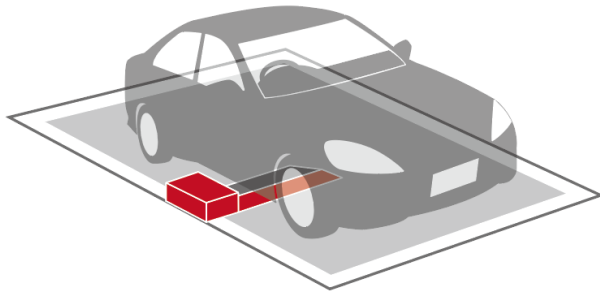
- 03 -

### コーポレートガバナンスの強化

- 社外役員の多様性・専門性を活かした意思決定の高度化
- 顧客・案件情報管理のシステム化、DXを見据えたITによるリスクマネジメント

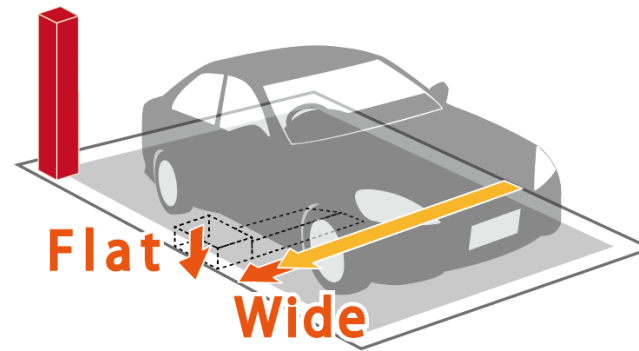
直営駐車場・受託管理駐車場の双方に対し、機器・システムの最適化を推進。その一環として、自然災害に強く、幅広い利用者の安全性・安心感の向上に貢献するフラップレス駐車場を推進

## 従来のフラップ式駐車場



- フラップの幅分、駐車スペースが狭くなる
- 機器故障時は出庫できないケースがあるためクレーム化しやすい

## フラップレス駐車場



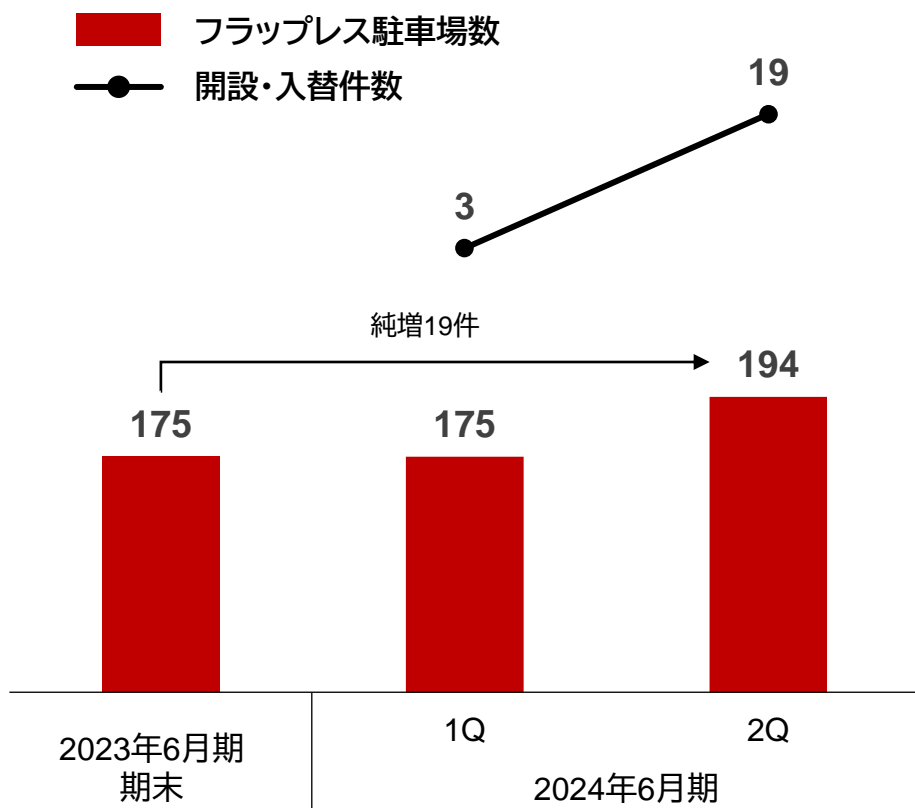
降雪時は除雪車を用いて早期復旧が可能

- 駐車スペースを広く確保できる
- 駐車・乗降車がスムーズで利用者の転倒リスクも少ない
- 降雪や冠水などの自然災害に強い

# フラップレス駐車場の導入状況

直営駐車場において、降雪地域を中心に上期に22件のフラップレス駐車場を設置。  
 今後は降雪対策に限らず全国的な設置を計画

## 直営駐車場におけるフラップレス駐車場数の推移

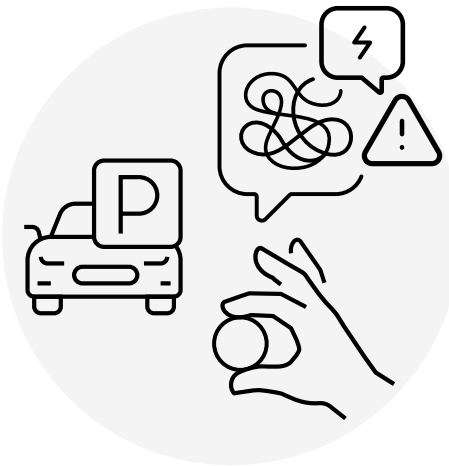


場内カメラの映像をモニタリングして不正の防止と安心感を提供する取組み

# キャッシュレス決済の推進

利便性を高める機器・サービスを強化。従前より稼働や地域に応じて最適な決済機器を選定してきたが、  
今後はニーズの高まるキャッシュレス決済システムの導入をさらに加速

## 現金精算の場合



- ・硬貨つまり・識別不良などが起きやすくクレーム化しやすい

## キャッシュレス決済の場合



- ・キャッシュレス化等によってトラブルの発生を削減

例

高いキャッシュレス決済率が見込まれる地域は、交通系電子マネーやQR決済が可能な決済機を導入



駅周辺



大規模駐車場



駐輪場



マルチ決済機

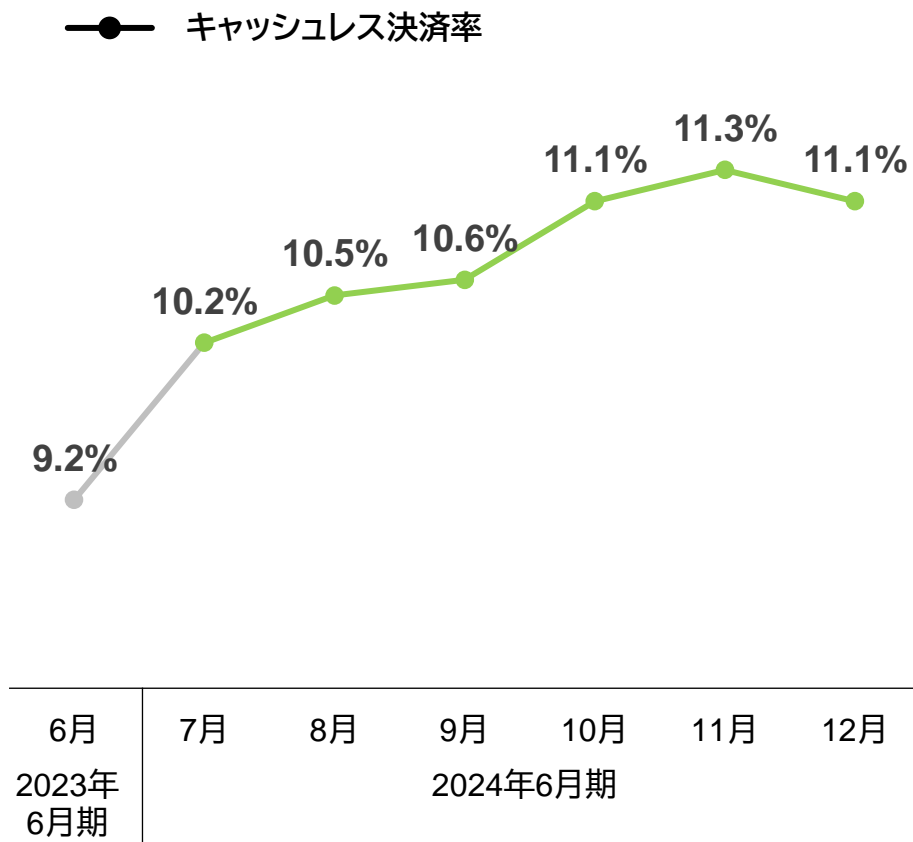
利用者の特性に応じた  
最適な決済により快適度向上

# キャッシュレス決済率とSmooPAの状況

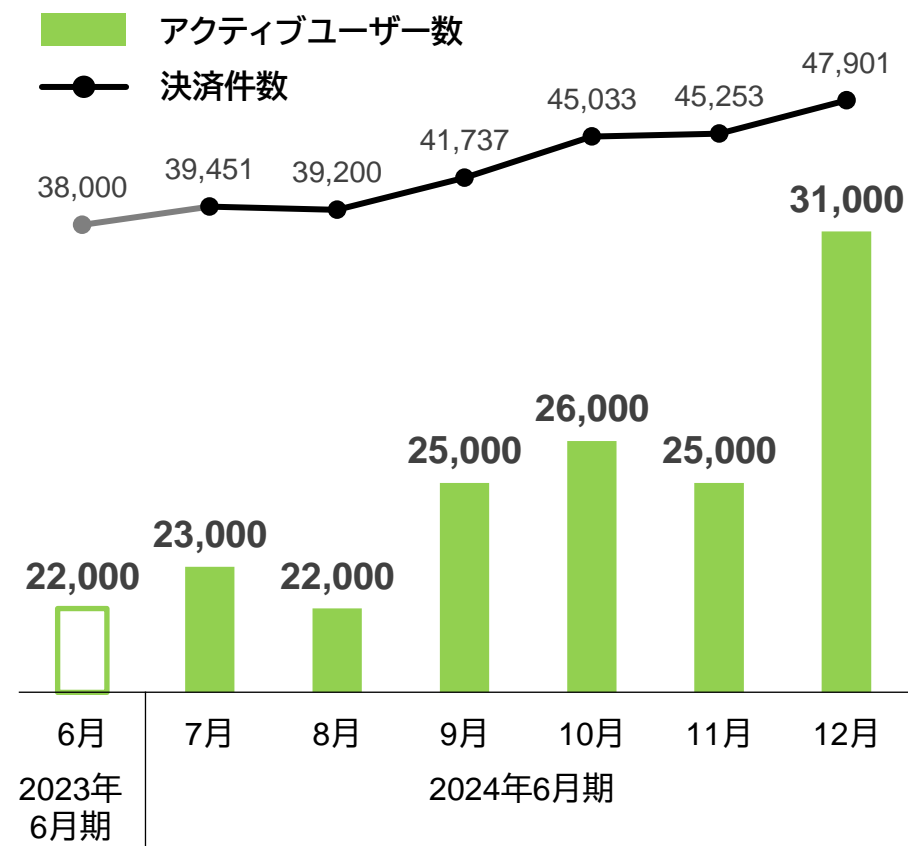
キャッシュレス決済率は前期末比で1.9%上昇。

駐車場検索・決済アプリ「SmooPA」のアクティブユーザー数と決済件数も順調に増加

## ■ キャッシュレス決済率の推移※



## ■ SmooPAのアクティブユーザー数および決済件数



※ 直営駐車場・駐輪場の全体の売上に占めるキャッシュレス決済の割合



## 専門サポートの強化

利用者・オーナーの双方にとってストレスフリーで安全・安心・快適な駐車場の運営に向け、  
日常の保守点検・コール業務のさらなる改善に注力

### 有資格者による定期点検・早期復旧



- ・メンテナンススタッフの資格取得推進により、保守点検作業の品質を高め、故障を未然に防止

### もしもの時もつながりやすいコールセンター



- ・一次窓口となる自社運営コールセンターの品質維持
- ・トラブルの未然に防止による入電数の減少も目指す

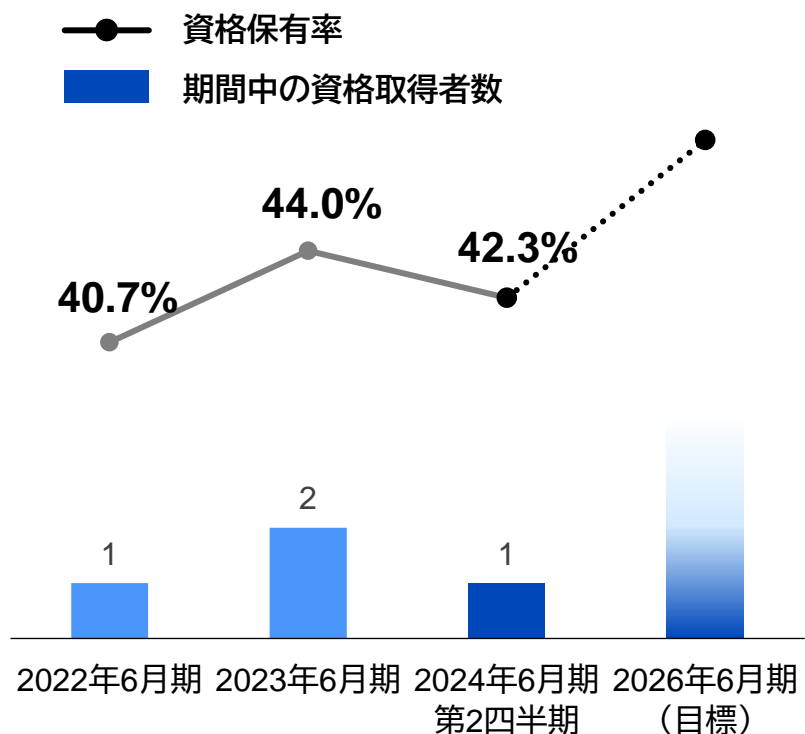
連携強化

スピード・技術力の高い保守管理を継続

## 資格取得の状況

新たに2名(メンテナンススタッフ1名、コールセンタースタッフ1名)が第二種電気工事士資格を取得。  
 今後もメンテナンススタッフにおける同資格保有率の向上に向けて教育を強化

### ■ 第二種電気工事士の資格保有率の推移※



より高品質な対応

※ メンテナンススタッフに占める資格所有者の割合

04

---

# 2024年6月期 業績予想

---

# 業績予想

(百万円)

	2023年6月期 実績	2024年6月期 予想	増減率(増減額)
	通期	通期	前期比
売上高	6,889	7,150	+3.8% (+260)
営業利益	430	444	+3.3% (+14)
経常利益	423	432	+2.0% (+8)
親会社株主に帰属 する当期純利益	265	262	△1.4% (△3)
1株あたり 当期純利益	249.58円	229.21円	△8.8% (△20.37円)

# — 配当予想

	2023年6月期	2024年6月期 予想
1株当たり配当金(円)	63.0	53.0
中間配当金	24.0	24.0※
期末配当金 (内、上場記念配当)	39.0 (10.0)	29.0 (-)
配当金総額(百万円)	69	60
配当性向	25.2%	23.1%

※ 2024年6月期の中間配当金については、2024年2月14日開催の取締役会において決議済み

05

---

# トピックス

---

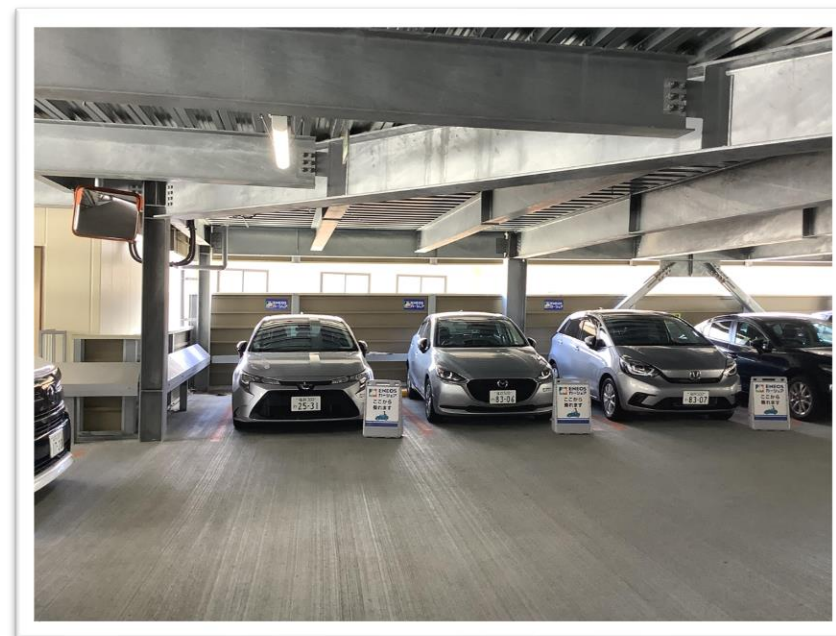


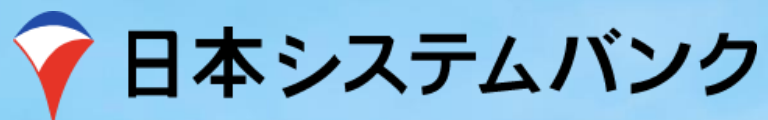
# トピックス

ENEOSホールディングス株式会社と協業し、2023年10月より北陸3県でカーシェアサービスを開始。  
2024年3月に迫る北陸新幹線の福井延伸も見据え、来訪者への二次交通手段を提供しつつ駐車場の付加価値向上を図る

## 地域別設置状況

- 福井県 ▶ 4台【システムパーク得福井駅東北電前(3台)、システムパーク北の庄1】
- 石川県 ▶ 3台【システムパーク駅西本町、システムパーク駅西本町第3、システム金沢ビル駐車場】
- 富山県 ▶ 3台【システムパーク牛島新町、システムパーク千歳町、システムパーク富山駅北口】





## 免責事項

本資料における当社および当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来情報に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報から合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等の結果は、想定と大きく異なる可能性があります。これら将来情報に関する記述には、多様なリスクや不確実性が内在しています。なお、本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。